



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.18
2012年1月号

公益財団法人
School Aid Japan
〒144-0043
東京都大田区羽田 1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>
sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

日本からのクリスマスプレゼント

2011年のも最後の月となりました。日本では本格的に冬を迎えるわけですが、そんな寒さも吹き飛ばされてしまうくらい忙しい月でもあります。

さてカンボジアの12月は、1年を通してみても寒い時期に当たります。朝方は25度くらいまで気温が下がり、日中は大体30度くらいまで気温が上がるものの強い風がともないます（一番暑い4月、5月ですと35度以上になります）。

カンボジアのお正月ですが、「クメール正月」と呼ばれるお正月が4月ごろに行われるため、1月の新年はあまり重視されないようです。そのため日本の年末のような慌しさや新年を迎えるにあたっての賑わいを感じられません。私たち日本人は、この30度という気温とカンボジアの習慣のおかげで、年末であることを忘れてしまうほどです。

さて、今月もいくつかの出来事がありましたのでお伝えします。

一つ目は、日本から送られた農業機械、農業資材がSAJ Farmに届いたことです。12月に届いたことから、大きなクリスマスプレゼントとなりました。届けられた機械は、次の通りです。

- 耕耘機 4台
- 小型トラクター1台
- 管理機 1台
- 草刈り機 1台
- 荷物運搬機 1台
- 配水用ホース

これらは日本の農家で故障等のため使われなくなった機械をSAJで集め、修理したあとカンボジアへ送ったものです。

カンボジアで購入する機械は、日本製に比べてどうしても壊れやすく、修理に時間がかかっているのが現状です。修理の出来る技術者が近くにいなかったり、コピーされた部品が多いためです。

日本の製品とこちらの製品とを比べた際に違いとしてもう1つあります。それは、日本製の機械は使い勝手が良いことです。よく見なければわからない部分まで工夫されていますし、メンテナンスがしやすいようになっています。

早速、水田のしろかき、そして堆肥を混ぜるために使用させていただいたり、揚水機につないで水をくみ上げる際に使わせていただいています。



農場に届いた農業機械。



何束にも及ぶ配水用ホース。
しっかりと梱包されて届きました。



いただいた耕耘機。
堆肥を混ぜています。

いただいた耕耘機の内 1 台は孤児院に運び使ってもらうことを予定しています。そのために孤児院の日本人スタッフへの講習を計画中です。

仕様前の点検やメンテナンスをしっかりと行い大事に使っていこうと思います。

二つ目は、乾季に作付ける水稻の種籾を 12 月中旬に播いたことです。

今は育苗中で、草丈は 10 センチほど、葉の色も青々と順調です。1 月中旬ごろには田植えをする予定でいます。

乾季に稲を作付けることは、私たちにとって大きな壁でもあります。今年初めて挑戦するわけですが、大きなため池を作り、水を貯めてはいますが、思った以上に水を使う量が多く、水に関してはまだまだ課題が残りそうです。

そして、すずめ・ねずみによる被害も心配です。雨季に

作付けた際、収穫時期が周囲よりも少し早かっただけで、動物による被害が集中しました。乾季に作付けた場合は、私たちの農場にしか稲は作付けられていませんので、そうすると当然小動物が寄ってくるのではないかと考えられます。



届いたばかりの小型トラクターで慎重に代掻きを行うスタッフ

三つ目は、以前から飼育しているニワトリの親鳥が今 10 個のタマゴを暖めていることです。12 月上旬から 2 週間ほどかけて 10 個のタマゴを産みました。1 つめの卵が産み落とされたときには、言葉にならない感激がありました。

実は私にとって、ニワトリを孵化させるという経験は初めてのことなのです。そのため毎日エサを与え観察をし、勉強させていただいています。

毎日世話をしていると不思議なことが多くあります。この孵化の仕組みに関しても不思議なことの 1 つです。

孵化の時期は、1 月中旬頃になりそうです。

さて、2011 年も終わりです。おかげさまでスタッフ一同、大きな怪我や事故も起こさずにすみました。農場としてはまだまだですが、皆様のご期待に沿えるよう努めますので、2012 年もなにとぞよろしくお願ひいたします。

編集後記

たった 6 羽しかいないニワトリなのですが、飼育にはかなり手を焼いています。人間の言葉を聞き取ってくれる、もしくはこちらがニワトリの気持ちを理解できればいいのですがそうは行きません。そのためエサの内容やその量などはなかなか安定せず試行錯誤していますし、運動場に放せば、2メートルの柵を越え他へ遊びに行ってしまう。頭にくることもしばしばですが、今は生まれてくる雛が楽しみな毎日です。

(SAJFarm 飯島)



これから作つけるための水稻の苗。
順調に育っています。